

主要地方道 京都宇治線 交差点改良

(宇治市五ヶ庄)

主要地方道京都宇治線は、国道24号の観月橋から京都市伏見区の市街地を通り、宇治市中心市街地に至る道路で、沿線地域と広域ネットワークを結ぶ基幹道路であるとともに地域住民の生活も担う重要な路線です。

当路線は、京阪宇治線、JR奈良線と並行していますが、当該地区では、この2線が隣接しており、交差点部は踏切の影響を受け、渋滞が慢性化し、無理な踏切横断により、交通事故が多く発生しています。

また、JR黄檗駅、京阪黄檗駅を利用する歩行者や自転車の交通量が非常に多く、歩行空間が狭く非常に危険な交差点となっています。

このため、右折レーンの設置などの交差点改良及び歩道の設置を行うものです。

平成28年度は、引き続き用地取得、築造工を推進し、JR黄檗駅北側の交差点改良工事の完成・供用開始を目指します。

◎事業概要

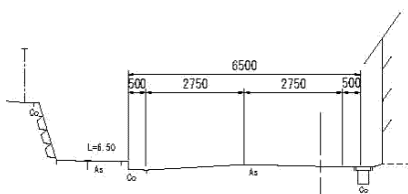
全体計画	H27までの実績	H28計画
事業期間：H18～H30(予定) 事業延長：200m 道路幅員：16.0 事業費：13億円	事業概要：測量・設計 用地補償 築造工事 事業費：10.6億円	事業概要：用地補償 築造工事 事業費：1.0億円

◎事業効果

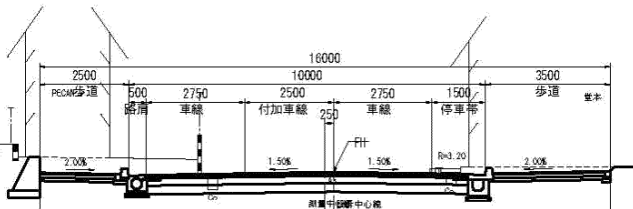
- 右折レーン、踏切待機スペースの整備により、渋滞と交通事故の低減を図ります。
- 歩道の設置により、歩行者・自転車の通行の安全を確保します。



施工状況



改良前



改良後